



東一小だより

11月号

令和3年10月29日発行

大田区立東調布第一小学校

学校長 鳥居 洋子

<https://www.ota-school.ed.jp/higashichoufudai1-es/guide/index.html>

対話を通して学び合う

校長 鳥居 洋子

本校では、昨年度から「対話を通して学び合う児童の育成」をテーマに校内研究に取り組んでいます。子供たちが主体的・対話的な学びをするためにはどのように指導を工夫して学びを深めたらよいかという教員の思いからスタートしました。今年度は国語だけでなく、様々な教科で研究授業を行っています。

思っていることをお互いに伝えるのは『会話』です。子供が「Aです。」と言ったら、それを聞いたもう1人の子供は、「Aなのか。」と思いますが、その言葉が相手の考えに影響を及ぼすとは限りません。2人の子供たちの考えは、広がりは見られても深まりは見られないのではないのでしょうか。これに対して『対話』では、子供が「Aです。」、もう1人が「Bです。」と言った場合、言葉のやりとりを繰り返していくうちに、Aですと言った子供の考えには、新しい視点が変わり、AにBをプラスして考えることになります。根拠や具体例などを挙げて分かりやすく説明することで、子供たちは、お互いの考えを受け止め、異なる視点で影響を及ぼし合います。対話をする中で、考えが広がり、深まります。

自分の思いや考えを表現し、対話により学びを深める力を育てるために、授業では、学級全体だけでなくペアや少人数のグループでの話し合い活動を取り入れています。先日、校内研究で行った6年の道徳科の授業「エルトウールル号のきせき」では、少人数での対話を行いました。それぞれの意見の照らしあわせで終わることがないように、視点をしっかりともたせて話し合いを行い、考えに自信をもたせました。

様々な授業で対話を取り入れることで、相手の意図を理解し、自分の考えと比べて共有するなど、子供たちは対話を通して学び合う大切さを感じています。伝える側は、相手を意識して根拠などを挙げて分かりやすく説明し、聞き手は質問をしたり、友達の考えを比べたりしながら考えることで、深い学びができるようになってきています。

生活の様々な場面でも、対話することは重要です。対話を通してお互いをより深く理解することで、子供たちが豊かな学校生活を送り、更に輝くことができるようになります。これからも、子供たちが対話により学びを深めるだけでなく、コミュニケーションを図ることでお互いを理解し合い、豊かな人間関係を築くことができるようにしていきたいと思えます。

11月の研究だより

研究推進委員会 木村 英里

研究テーマ「対話を通して学び合う児童の育成」を目指し、2学期はこれまで3回の研究授業を行いました。

9月の3年分科会の研究授業では、国語科「ちいちゃんのかげおくり」の教材を用いた授業を行いました。物語を読みすすめていく中で、自分の考えをもち、それを共有し、一人一人の感じ方などの違いに気付けるように対話の工夫を考えました。子どもたち自身が友達の意見を聞きたいと思えるよう、同じ問題について話し合ったり、友達の意見を取り入れて自分の考えを深めたりする機会を授業内に取り入れました。

授業をすすめていく中で、子供たち自身から「友達の意見を聞いてみたい。」「自分と考え方が違っていた。」という意見も出てきました。自分から積極的に友達に話を聞こうという態度もたくさん見られました。対話をする意義・良さを子供たち自身が感じている証拠だと思います。

これからもより良い授業ができるように研究をすすめて参ります。

やさしい心ですごそう

生活指導委員会 行田 さゆり

今月の生活指導目標は「やさしい心ですごそう」です。このテーマで原稿を書くにあたり「やさしい心」とは何だろうと改めて考えてみました。すると東一小の中にはたくさんの「やさしい心」が溢れていることに気が付きます。

「おはよう」「ありがとう」「だいじょうぶ」「手伝おうか」「ごめんね」「それいいね」「すごいね」「上手だね」「かっこいいね」「素敵」…。

子供たちはこのような何気ない言葉を日常的に自然と使っています。「やさしい言葉はたとえ簡単な言葉でもずっとずっと心にこだまする」とマザー・テレサの言葉にあります。「やさしくしよう」と改めて考えて行動するのではなく、自分自身の中にあるやさしさから自然と出てくる言葉や行動が、相手の心を温かくし、お互いに心地よい関係を築くことができるのだと思います。今月は「やさしい心」をちょっとだけ意識して家庭でも学校でも過ごせるといいですね。

2年生だより

桑山 めぐみ

運動会ではたくさんの保護者に参観していただき、子供たちはかけっこ、表現を今までで最高のパフォーマンスすることができました。次は、東一ステージに向けて合唱と合奏に取り組んでいます。昨年とは違い、たくさんの行事を経験して成長している子供たちです

さて、日頃の学習の様子では、特に生活科で、1学期から「せかいでひとつわたしのおもちゃ」という単元に取り組んでいます。1学期は自分のおもちゃを作ったところで終わりました。2学期は、1学期と同じおもちゃでも工夫をしたり、違うおもちゃ作りにチャレンジしたりしています。途中、自分の作ったおもちゃや友達のおもちゃで遊んでみました。友達に工夫したところを教えてもらったり、自分とは違うおもちゃを見て、次は友達の作ったおもちゃを作ってみたいと思ったりしました。今は、さらに工夫をしたり、別のおもちゃを作ったり、遊びのルールを考えたりしています。

おもちゃ作りを通して、自分なりに様々なことを考えている子供たちです。子供たちの様子を見てみると、生活科は図画工作や理科、社会だけでなく学級活動にもつながる学習だと改めて実感しています。他教科でも、自分の考えや友達とのかかわりを通して成長しています。

五組だより

堤 正一

運動会ではたくさんの保護者に参観していただき、子供たちはかけっこ、表現を今までで最高のパフォーマンスすることができました。

今年度もコロナ禍が続き、予定していた様々な活動が中止や延期となっていました。区内の特別支援学級では、連合行事として連合運動会は中止となっていました。連合移動教室連合展覧会は実施できる運びとなり、子供たちは喜んでいきます。

連合移動教室は、5・6年生が伊豆高原学園に1泊2日の日程で宿泊学習に取り組むもので、今月11日と12日に実施されます。伊豆の自然や、活動の内容など事前学習に取り組んでいるところです。

連合展覧会は、区内特別支援学級の子供たちの図工作品の展覧会で、2月15日から22日まで、池上会館にて開催されます。感性豊かな子供たちの作品が展示されますので、ぜひお越しいただければと思います。

11月行事予定表

1	月	放送朝会 委員会活動
2	火	学校公開 (五組・6年) 駅伝練習 (選考会)
3	水	文化の日
4	木	体育朝会 (低学年) 学校公開 (5年) 代表委員会
5	金	水曜時程 挨拶運動始 (4年) 就学時健康診断 下校12:50
6	土	東京都教育の日
7	日	
8	月	放送朝会 学校公開 (4年) クラブ活動
9	火	安全指導 学校公開 (3年) 駅伝練習
10	水	学校公開 (2年)
11	木	学習活動 学校公開 (1年) 中学校見学 (6年) 連合移動教室 (五組・5・6年)
12	金	読書活動 挨拶運動終 連合移動教室 (五組・5・6年) ステージ準備 (6年) 駅伝練習
13	土	セーフティ教室 土曜授業 土曜補習
14	日	
15	月	放送朝会 避難訓練 クラブ活動
16	火	縦割り班活動 駅伝練習
17	水	
18	木	児童集会 ミニコンサート (1~3年) 駅伝練習
19	金	読書活動 校内研究会のため4時間授業 (5年4組は5時間授業)
20	土	
21	日	
22	月	放送朝会 校外学習 (五組)
23	火	勤労感謝の日
24	水	区内研究会のため4時間授業
25	木	学習活動
26	金	読書活動 駅伝練習
27	土	
28	日	
29	月	放送朝会 ステージ児童係打合せ (6年係児童のみ)
30	火	駅伝練習

学校公開

松本 真廣

11月2日(火)～11月11日(木)まで学校公開を実施します。今年度も感染症予防の観点から学年ごとに実施日を設定しクラスごとに時間を分けて、体育館でお子様が日頃頑張っている様子を参観できるようにしました。ご参観くださいますよう、よろしくお願ひします。